

「伝統的工芸と生活デザインを結ぶ企画デザイン」と展示によるデザインの展開を主に

美術教育・千代田憲子

### 1. 授業の概要

科目の区分 [デザイン]では、1年時前期のデザイン基礎演習と後期のデザイン概論のうち、2年後期にデザイン1を配当しており、本授業はそれに続く3年前期の科目である。VI(ビジュアルアイデンティティ)の基本要素と展開要素に取り組み、デザイン要素を整理し構成する力を養いながら、わかりやすく魅力的な企画デザインの提案を目指す。次に編集デザインとして構造(組み立て)を意識した絵本を制作する。本年の受講生は中等教育コースの1名であり、コロナ禍での実技科目のあり方を探りつつの展開であった。

### 2. 授業評価・授業研究の内容

授業の継続テーマ3年目にあたり、前年度に開発したコンセプト形成力の深化を助けるデータシート(要素と組み合わせなどの視覚化によりデザインの比較検討をする)を前半で用い、過去2年間の作品と共に展示を行うために、展示の準備に携ることまで含めた。コロナ禍と受講生がひとりであることに注視した授業を行った。実技科目として15回のうち5回は対面授業を行い、合評や展示準備にはゼミ生も参加する形とした。なお、提供する布素材などは郵送し、アイデアの検討は送受信の繰り返しによる遠隔授業とした。プレゼンテーションパネルの制作や絵本制作は、例年デザイン1で習得したグラフィックソフト(主にイラストレーター)の習熟を図るが、本年度は遠隔授業期間を考慮して、パワーポイントや携帯アプリを代替として用いることとした。コロナ禍の不自由が続く中、絵本制作の条件は自由度を増す対応とした。

アンケート結果より抜粋(自由記述)

#### ① VIと企画デザイン(含展示)について

- ・常に手元に生地があって制作できたのがとても良かった。
- ・家でじっくり考えながら時間を気にせず制作し、とても納得がいく仕上がりになった。
- ・実習室が使用できなかったが、パワーポイントを上手く使えるようになった。

・展示は大変なこともあったが、展示方法も勉強になり、達成感がすごく嬉しく、とても良かった。

#### ② データシートの事前作成について

・見本例で改善すべきと考えたことを自分の提案に落とし込めた。客観的にみることでできて良かった。

#### ③ 編集デザイン(絵本)について

・家で物の揃った状態で制作できたことは良かった。

・コロナの影響を受けた教科もあったが、デザイン2はいくつかのメリットがあったように感じた。絵本づくりはとても楽しくて、またやってみたいと思う。

・デザイン分野への興味・関心を得ることができた。

### 3. 総括

副免取得などにより、専門の実技科目の積み重ねの機会が減少しており、改組による受講生数減と共に問題の根源としてある。しかし、教室使用時の三密回避や材料の郵送などをはじめとして少人数だからこそ可能であった側面もある。時間配分や継続的取り組みの良好な結果に、遠隔を交えた実技指導にある程度の手応えを得た部分もあるが、自宅通学の上回生で前年度までのデザイン科目を複数履修している前提がなければ困難であったと思われる。合評や展示の際に、3回生のデザインゼミ生を交えた意義は双方にとって大きく、特別な条件下に幸運な巡り合わせの結果ともいえる。

参照

美術教室 HP 内授業デザイン2

<http://www.ed.ehimeu.ac.jp/~bijutsu/>

「伝統的工芸と生活デザイン アジアの布とともに」(於:愛媛大学ミュージアム企画展示:JSPS 科研費 JP17K04800 の助成)

<http://youtube.be/8bsv1Elq8XQ>

「伝統的工芸と生活デザインを結ぶデザイン学習モデルの開発(平成 29-31 年度基盤研究C)」